

流通経大生

流通経大の学生が5月5日、横浜・日産スタジアムへA全盛チビリンピックでイベント運営を体験した。高橋尚子さん、北沢豪さんらゲストのアテンド、場内アナウンス、会場設置写真撮影、選手の案内や水分補給の補助、ボールパーソンなど、多岐にわたる業務で汗を流した。社会体験で学んだことを、学生たちが振り返った。



日産スタジアムフィールド上でアテンド実習

2日間の運営体験

6ゼミ31人が一体感

4月からスタートする各学年のゼミ活動、初めて顔を合わせる学生も多く、慣れない仲間同士の一体感を一気に養うのが5月の連休期間に行われる日刊スポーツ新聞社主催の「チビリンピック」への参加だ。今回は1年生から4年生まで、共創社会学部地域人間科学科から18人とスポーツ健康科学部スポーツコミュニケーション学科から13人が参加した。当日朝、「日刊スポーツ」の責任者から「参加する小生から見たら、『日刊スポーツ』の社員も流通経大のみなさんと同じ。責任をもつて役割を果たしてほしい」という事前説明に顔が引き締まる学生たち。最も緊張したのはゲストのアスリートのアテンド役だ。慣れない「インカム」から聞こえる指示通りに、金メダリストや著名なスポーツアスリートを滞りなく会場内の指定された場所に移動させなければならぬ。また参加する小学生への「給水」も、健康にかかわる大事な仕事。冷たい水を競技終了に合わせた準備する裏方の裏方仕事だが、「おいしい」「ありがたう」という子供たちの声が学生たちの顔をほころばせた。

会場の原状復帰作業

そして学生たち2日間の意味がしみ込んだのは最後の最後、大会中に出たゴミの仕分けと撤出作業。遠くで華やかな閉会式と表彰式のアナウンスが響く中、参加学生全員で生ゴミなどを仕分け、ゴミ集積所への運搬を繰り返す。一刻も早く整理して、明日からの利用のために会場を「原状復帰」すること。これこそ一番大事で誰かがやらなければならない仕事だった。午後6時前、すでに騒がしさもやんだスタジアムのゴミ集積所で、どこからともなく「終わったあー」という学生の声が飛び出した。

2日間にわたって新たな仕事を自分で見つけ、役割を果たし、汗をかき、笑いあった学生たち「新たな伝統」として育ちつつある——龍崎教授

流通経大 1965年(昭和40)開学

現在5学部9学科5大学院研究科を擁する総合大学。学生数は約5,000人。4万人を超える卒業生は、ビジネス界はもとより、公務員、教員など多方面で活躍。多くのプロスポーツ選手も輩出している。「誰一人取り残さないキャンパス」を掲げ、SDGsやLGBTQ+などの課題解決にも取り組んでいる。11年から日刊スポーツとのコラボ企画を実施。ジャナリット講堂などを開設している。新松戸キャンパスは千葉県松戸市新松戸3の2の1。龍ヶ崎キャンパスは茨城県龍ヶ崎市2-0。片山直登学長。運営は日通学園。系列校に付属柏高(生徒数約1,150人)と昨年4月に開校した付属柏中があり、6年間の中高一貫教育を掲げている。

新たな仕事を自分で見つけ 役割を果たし 汗をかき 笑いあった学生たち「新たな伝統」として育ちつつある——龍崎教授



来場者のプレゼントを準備

裏で支えた

大変な景品詰め 子供たちの笑顔想像しながら頑張った

体験記 小林瑞稀(3年)

大会前日に仕事があるのだから？ 大会前日の5月4日、そんな思いを抱きながら、会場の日産スタジアムに向かった。しかし、夕方まで仕事はひっきりなしに続いた。

最初に行ったのは大会ポスターをパネルにはめ込む作業。ポスターを差し込む人、パネルを持つ人といった役割を振り分けて30分ほどで完成できた。

昼前には、関係者のために弁当や飲み物を振り分け、食後のゴミ収集も担当した。弁当を振り分ける際に、弁当が足りないという大変なので何度も弁当を数え直した。ゴミ収集も市の収集方法に倣い、丁寧に分別をすることを心がけた。

午後は翌日の本番に向けて、午前中に組み立てたパネルなど備品を運んだり、出場する子供たちが競技前後に給水したりするための給水所を準備。さらには

入賞者への景品を詰め合わせるなどの活動をした。チビリンピック当日は参加できなかったが、子供たちが最高のパフォーマンスを発揮するための準備に関われてうれしかった。景品を詰める作業は大変だったが、子供たちの笑顔を想像しながら頑張った。

準備活動の合間には隣接する日産フィールド小机に移動し、この日唯一行われていたサッカー大会を補助した。私が担当したのは外に飛び出たボールを拾い、選手たちに返すボールパーソン。素早く返さなければ試合が円滑に進まないという、気を抜かず、ボールが飛んでくると全速力で走って取りに行った。

空き時間には試合を見ていた。小学生が勝利、優勝のために一生懸命ボールを追う姿を見て、こうして全力で打ち込む体験は、きっと先々に役立つだろうと思った。私も今回の体験が、将来に役立つような気がして、一層頑張ろうと思った。

潮上萌さん(3年)は、サッカー会場でアナウンスを体験した。プロの松本浩之アナウンサーに指導を受けながら、試合の案内や結果、熱中症への注意を促すアナウンスもしていた。

聞いている私は「うまいなあ」と思っていたのだが、潮上さんには語尾が上がる癖があり、松本アナから「語尾を下げるよう心掛けてほしい」とアドバイスされたそう。そのほかにも「もっとも伝えたいことを強調して読む」「背後のスタンドにいるお客さんにも聞きやすいように」などの助言を受けたという。

今回の体験について、潮上さんは「友達と話したり、大学でプレゼンテーションをするときでも、語尾が上がらないよう注意すれば、もっと聞きやすく、私の話に耳を傾けてもらえると思いました。また、文章では一番伝えたい事をはっきりさせることも考えていきたいです」と話していた。

1日の活動を通じて、大会前日から多くの人が準備をしているからこそ、本番を迎えられるのだと実感した。大会は選手だけでなく、それを裏で支える人がいて成り立つ。支える役の重要性を理解でき、いい経験になった。

私の所属ゼミナールは、地域の方との交流を深めるためにスポーツイベントの企画運営を行っている。効率的に仕事をするため役割分担を明確にするなど、今回の経験を今後に生かしていきたい。

緊張感が最高潮になった。スタジアムのロビーで待機していると、控室からサッカー元日本代表の北沢豪さんが出てきた。5月5日のチビリンピックでは北沢さんのアテンド役を担った。

「初めまして、本日は担当させていただきます。流通経済大学の関野と申します。よろしくお願ひいたします」「そんなに緊張しないでいいよ。よろしくね」

緊張しながらあいさつする私に、北沢さんは笑顔で返してくれた。ホッとした。

北沢さんは私が生まれる前年の2002年(平14)に現役を引退しており、実際にプレーを見たことはない。だが、私と同様にサッカーをしていた父にとっては憧れの人だという。前日4日

の打ち合わせで、北沢さんの担当に立候補した。

出場する子供やファンに対しても、北沢さんは気さくに対応していた。「こんにちは」「北沢さんだ、ノ」と声をかけられると、「おう、がんばれよ」と返答し、観客から求められたサインにも快く応じていた。そんな対応が素晴らしいと思え、人間性と実力を兼ね備えているからこそ、人気があるのだと感じた。

ファンからサインを求められたときには、北沢さんから各ゲストがサインを書きやすいよう、私が紐を持ってサポートした。サインをもらった子供が喜ぶ顔を見ると、彼らの夢に関われたような気がして、うれしかった。

笑顔だった北沢さんも、放送ブースに着いた途端に真剣な表情となった。世界で活躍したプロ選手が、スイッチを切り替える瞬間を見ることもできた。

閉会式が終わった後、取材に対し「サッカーが今も好きだ」と言っていた。その言葉を聞いて、私もこの先どんな形であれ、大好きなサッカーに関わってみたいと、あらためて思った。

幼稚園時代にサッカーを始めた私は、いつも競技する側にいた。今回2日間の活動を通じ、イベント運営の大変さを知ると同時に、子供たちの笑顔や、ゲストの方からの「ありがたう」という声を聞くと、自分もイベントを支えているのだという気持ちになった。

子供たちが無邪気にはしゃぐ姿を見て、自分がスポーツ少年だった頃を思い出し、そんなイベントに参加できたこともうれしかった。

彼らの夢に関われたような気がした

【龍崎ゼミ】

池田歩、駒形仁美、坂本淳哉、関口萌々子、林田和季、矢部帆拳、力石朝日、土谷絢菜、潮上萌、小松慧太、青井恵里菜、浅井望来、岡野凛奈、狩野光輝、河野皓成、小玉凌、柳谷咲、星野恭吾

【小林ゼミ】

岡田千夏、古野春李、伊藤終翔、斎藤優、西村舜祐

【西機ゼミ】

小林瑞稀、高橋優吾、寺門聖響

【大平ゼミ】

高木絃

【宗宮ゼミ】

関野紘夢、龍本琴葉

【松田ゼミ】

野村俊介、浅井柚

横浜・日産スタジアム

小学生のスポーツ大会

イベントチビリンピック

えっ! こんな方法があるの?

全国対応可

家に住んだまま現金化!!

家を売っても住み続けられるリースバックという方法があります!

売却代金は最短5日で支払!

※通常40日程度。物件・状況により5日で対応できない場合もあります。諸条件により、買取できない場合があります。

資金の使い道に制限はないので自由に使うことができます!

こんな不安をお持ちの方はご相談ください!

☒ 今すぐまとまったお金が必要

☒ 年金だけでは生活が苦しい

☒ 老後の資金が足りない

☒ 借金の返済に困っている

【受付時間】平日・土日祝 9:00~18:00 ※営業時間外はIVR(自動音声応答)

0120-955-058

【東京支店】東京都新宿区新宿3-1-24 京王新宿3丁目ビル9F
【本社】大阪府大阪市中央区本町2丁目6番10号 本町センタービル7階
宅地建物取引業者免許 国土交通大臣(2)第9195号

訪問査定無料!!

最高裁が認めた!! そのワケは?

現金があなたに!? 驚きの判決

2006年、最高裁は驚きの判決を下した。クレジットカード・カードローンの利息が、法律に違反して高すぎるというものである。

多くのカード会社を支払われた返済は、違法であった。これまでに払い過ぎた利息の返金に応じようとして、金銭的困窮に陥った人々が、この判決をきっかけに返済金と引き換えに、過払い金を返金されることになった。

その利用時に利息を払い過ぎている可能性がある。確認は無料、最短1分!!

過払い金は電話するだけで、無料で確認できる。このチャンスを逃すのはもったいない。42%以上の確率で発生しているという。ダメでもとどめ、早くの当選を確認するくらいの気持ちで0120-10-10-10まで電話してみよう。QRコードを読み込めば、携帯から確認することも可能。

株式会社 中央事務所
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング9階 代表 田中 秀平 ※1.ショッピングの利用は除く。※2.司法書士法人 中央事務所との間で2018年1月~2018年12月に契約したお客様40,196名中17,155名に通知し金銭的発生。その平均額は約123万円(2019年1月8日時点)。ただし、当該金額は取り戻せるものに算出。実際に手元に戻る金額は変動する可能性がある。※司法書士が認める案件は1社につき140万円以下のものに限り、※正式な手続きの依頼には、司法書士による本人確認が必要。[2020.05.05]